

■ばれいしょの殺菌剤(植え付け後から)

区分		毒性	予防／治療	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	無人航空機 散布	適用病害虫					防除上の注意事項
											軟腐病	疫病	塊茎腐敗	夏疫病	菌核病	
散布	疫病 および 夏疫病 6月中旬 ～9月上旬	－	予	ジチオカーバメート	グリーンペンコゼブ水和剤	400～600倍	166～250g	7日前	10			●		●		・疫病的防除は6月中～下旬より枯凋期まで7～10日間隔で行う。 ・同一系統の薬剤は連用しない シモキザニル含有剤(ホライズン・プリザード・エキナイン・ダイモ) CAA系(フロボース・カンパネラ・エキナイン・レーバス・ザンプロ等) Qii(ランマン・ライメイ・ダイモ) TPN合計5回以内(ダコニール・プリザード・フロボース・フォリオゴールド)
		－	予	ジニトロアニリン	フ ロ ン サ イ ド S C	1000～2000倍	50～100ml	7日前	4			●	●	2,000●	●	
		－	予治	ヘンズアミド・カーバメート	リライアブルフロアブル	800～1000倍	100～125ml	7日前	3	○		●	●			
		－	予治	CAA・クロロニトリル	プロボーズ顆粒水和剤	750～1000倍	100～133g	7日前	5	○		●	●	●		
		－	予治	CAA	レ ー バ ス フ ロ ア ブ ル	1500～2000倍	50～66ml	7日前	2	○		●	●			
		－	予治	シアノアセトアミド・QoI	ホライズンドライフロアブル	1000～2500倍	40～100g	14日前	4	○		●		1,500●		
		－	予治	シアノアセトアミド・クロロニトリル	プ リ ザ ー ド 水 和 剤	800～1000倍 800～1500倍	100～125g 66～125g	7日前	4			●		●		
		－	予治	Qii・シアノアセトアミド	ダイナモ顆粒水和剤	2000～3000倍	33～50g	7日前	4	○		●	2,000●			
		－	予	Qii	ランマンフロアブル	1000～2000倍	50～100ml	7日前	4	○		●	●			
	菌核病 開花後～	－	予治	ジチオカーバメート・シアノアセトアミド	カビナイスPZ水和剤	600～800倍	125～166g	7日前	4			●		600●		
		－	予治	OSBPI・QoI	ゾーベックエンカンティア	2000倍	50ml	14日前	3	○		●				
		－	予治	OSBPI・シアノアイダゾール	ゾーベックエンテクタSE	3000倍	33ml	14日前	3	○		●				
		－	予治	CAA・シアノアセトアミド・オキシム	エキナイン顆粒水和剤	2000～3000倍	33～40ml	7日前	4	○		●				
		－	予治	CAA・銅	フェスティバルC水和剤	400～600倍	166g～250g	14日前	3		●	●				
		－	予	銅	ク プ ロ シ ー ル ド	1000～2000倍	50～100ml	－	－	○	1,000●	●				
		－	予	銅	ド イ ツ ボ ル ド ー DF	500～1000倍	100～200g	－	－		●	●				
		－	予治	SDHI	ミリオネアフロアブル	4000倍	25ml	前日	3					●		
	軟腐病 発病初期～	－	予治	カルボン酸類	ス タ ー ナ 水 和 剤	1000倍	100g	7日前	5		●					・軟腐病の耐性菌の発達をさけるために、同一成分を含む薬剤を連用しないように注意する。 ・ストレプトマイシン本圃合計4回以内(バクテサイド水和剤・銅ストマイ水和剤・アグレプト液剤)
		－	予治	抗生物質・銅	カ ス ミ ン ボ ル ド ー	500～800倍	125～200g	7日前	3		●	800●				
		－	予治	抗生物質・抗生物質・銅	バクテサイド水和剤	750～1000倍	100～133g	7日前	5		●					
		－	予治	抗生物質・銅	銅 ス ト マ イ 水 和 剤	600～800倍	125～166g	7日前	5		●	●				
		－	予治	抗生物質	ア グ レ プ ト 液 剤	1000～2000倍	50～100ml	7日前	5		●					
		－	予	微生物	マ ス タ ピ ー ス 水 和 剤	1000～2000倍	50～100g	前日	－		●					・微生物農薬なので使用条件をよく確認する。